

椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Tel 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

ソフトテニス九州大会

3年生の松尾礼奈・平木彩夏さんたちが、県中学校総合体育大会のソフトテニス個人戦で4位となり、九州中学校ソフトテニス競技大会に出場しました。大会は8月10日(木)に、熊本市の熊本県民総合運動公園で開催されました。リーグ戦で、鹿児島県チームとは勝利しましたが、長崎県、福岡県チームには惜敗しました。

顧問の山村優李先生によると、九州大会では競技力のレベルが非常に高かったそうです。しかし、松尾・平木さんペアは、個々の力を出し切り、生き生きと競技に臨んでいたそうです。

戦争の悲惨さ伝える

8月1日(火)の登校日に、体育館で、第2次世界大戦の講話がありました。講師は、石河内在住の江藤睦美さんです。昭和20年、江藤さんは国民学校高等科の1年生であったそうです。



石河内にも米軍のグラマン戦闘機が飛来し、4

名の方が命をなくされたそうです。戦争の恐ろしさ・悲惨さを生徒たちは学びました。

小中家庭教育学級 講話

8月10日(木)の午後7:30~9:00、木城中学校多目的室で、木城小中合同の家庭教育学級がありました。「他人事ではない乳がん - まさか私が乳がん - 」というテーマで、川南町在住のガードナー真理さんが講演をしていただきました。ガードナーさんご自身が、36歳のとき、乳がんを患われ、闘病生活やこれまでのがん克服についての話をされました。ガードナーさんのお話によると、出産経験のない人、35歳以降に初出産した人、肥満傾向にある人、生まれたときの体重が4,350g以上ある人などが乳がん罹患者しやすいということでした。日本の乳がん検診率は、40%位で、アメリカでの検診率80%に比較すると、低いことが分かりました。乳がん検診は毎年受けることが大切であることを言われました。



熱中症対策指導

8月18日(金)の登校日、全校集会時に熱中症指導がありました。熱中症とは、脱水による体温上昇と、体温上昇に伴う臓器血流低下と多臓器不全です。主な症状は、めまい、失神、頭痛、吐き気、強い眠気、気分が悪くなる、体温の異常な上昇、異常な発汗(または、汗が出なくなる)などです。熱中症で死亡する事もあるので十分注意して予防を心掛けることを保体・給食委員会のメンバーがプレゼンテーションを行ってくれました。

全校集会後には、グラウンドで体育大会の練習がありました。2学期が始まったら、毎日体育大会の練習があります。熱中症にならないためにも水分補給、十分な睡眠や朝食を確実に摂ることが大切であることも発表してくれました。



救急救命 AED 研修

8月17日(金)の13:30~15:00、多目的室で先生方を対象とした救急救命 AED 研修が行われました。実際に、ダミー人間を負傷者として見立て、AEDを使って研修をしました。周りの安全と負傷者の意識や呼吸の有無を確認して、胸骨圧迫や人工呼吸の手順等を、東児湯消防組合員の方から学びました。先生方は熱心に参加していました。

校長雑感

己の欲せざること、人に施すなかれ —孔子のことば—

孔子は、今から二千五百年ほど前の中国の人で、旧暦の8月27日(新暦では9月28日)が誕生日とされています。キリストやモハメッド、お釈迦様とともに、世界の四大聖人と言われる思想家で、その教えは、今でも世界の人々に大きな影響を与えています。

あるとき、弟子の一人が孔子に聞きました。「人間関係の中で一番大切なことは何でしょうか?人間がこれだけは守っていくべきこと、一生涯努力すべきこととは、一言で言えば何でしょうか?」。孔子は、この問いに「一言で言うならそれは“思いやり”だ」と答えました。「もう少し具体的に教えて欲しい」という弟子に、孔子が言った言葉が「己の欲せざること、人に施すなかれ」です。すなわち「自分がして欲しくないことは、他人にしていけない」という意味です。この人の世の中、人間関係の中で一番大切なのは“思いやり”である。思いやりのある行動とは、せんじ詰めれば「自分が嫌なことは、他人にもしない」この一言に尽きると言っているのです。

今、世界を見渡すと、各地でテロが起こったり、急激に軍備を増強させる国があったり、またそのことで各国の間に緊張が生じたりと、この夏休み中も、心配になるようなニュースが多かったように思います。また、学校教育に目を移すと、いじめや、それを原因とした自殺などの問題が依然としてあとを絶ちません。

二千五百年前の孔子の言葉は、現代の社会に生きる私たちに最も求められていることの一つのように思えます。「自分がされて嫌なことは他人にもしない」。皆がこうなれば、この世の中はずいぶん住みやすく、平和になるのではないのでしょうか。きっと、いじめもなくなると思います。

また、私たちは(私も含めてですが)もしかすると、無意識のうちに、自分がされて嫌がることを、他人にしてしまっていることはないかと心配になることもあります。時々、そういう視点で、自分の行動や発言、言葉遣いなどを見つめ直してみることも必要だと感じます。

8月末から9月上旬にかけて、18歳未満の自殺が最も多くなるという統計も出ています。

各自が自分の命を大切にするとともに、自分の言動が、他人の心を傷つけていないかを、孔子のシンプルな言葉「自分がされて嫌なことを、他人にもしない」に照らして振り返ることで、誰もが安心して過ごせる木城中学校にしていきたいでしょう。